

事業番号	09 02 02	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	長野県原産地呼称管理制度運営事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	農業政策課農産物マーケティング室		
	施策の総合的展開	1-03 夢に挑戦する農業 3信州ブランドの確立とマーケットの創出			E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H14 ~		

1 事業の概要

目指す姿	農産物の「大きさ・色・形」等の既存の規格ではなく、農産物の価値を計る基準を「味覚・栽培方法・生産方法」等に求め、消費者の視点で策定、表示していくことによって、長野県産農産物のブランド化を推進する。制度や認定品のPRを実施することにより、県産農産物の販売促進を図り、農業者の所得向上につなげる。				
現状	○平成23年度：認定数417品（ワイン：86品、シードル：8品、日本酒：230品、焼酎：35品、米：58品） 管理委員会の開催2回、品目別委員会の開催14回（日本酒6回、焼酎3回、ワイン2回、米4回）、 品目別官能審査委員会の開催7回（日本酒3回、焼酎2回、ワイン2回、米2回） ○平成24年度：第1回県政モニターアンケートの認知度（23.9%）				
県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：検討中	【左記の説明、根拠法令等】 県が創設した制度である。 長野県食と農業農村振興計画、信州農産物マーケティング戦略プラン、長野県原産地呼称管理要綱			
事業内容	① 成果目標（H25）				
	県政モニターアンケートの認知度30%				
事業内容	② 事業内容 (単位：千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		H26
			(当初)	(決算)	(当初)
	1.顧問料	直接	玉村豊男氏、田崎真也氏による制度運営の指導及び助言(随時)		1,000
	2.管理委員会の運営	直接	制度を統括する、長野県原産地呼称管理委員会の開催(1回)		83
	3.品目別委員会の運営	直接	ワイン・シードル・日本酒・米・焼酎の制度運営(10回)		1,428
	4.品目別官能審査会の運営	直接	ワイン・シードル・日本酒・米・焼酎の官能審査委員会の開催(9回)		923
	5.制度PR資料の作成	直接	制度PRリーフレットの印刷・パネル作成		4,222
6.商談会の開催	直接	認定品商談会の開催		249	
		合計	8,211	5,256	7,518

事業	区分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
予算額	当初予算	9,232	9,232	8,211	7,518
	補正予算				
	合計(A)	9,232	9,232	8,211	7,518
	国庫支出金				
Aの財源	県債				
	その他()				
	一般財源	9,232	9,232	8,211	7,518
	決算額(B)	7,434	7,246	5,256	
ト	概算職員数(人)	3.00	3.00	3.00	3.00
	概算人件費	24,774	24,774	24,774	24,774
	概算事業費(B(A)+C)	32,208	32,020	30,030	32,292

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
県政モニターアンケート認知度	23.90%	30.00%	38.80%	達成	40.00%

目標に対する成果の状況 制度が創設され10年以上が経過する中で、認定品のPRに努めるなどの取組により、その認知度は着実に向上してきている。国産原料を使用した農産物や加工品に対する消費者ニーズは高まっており、ブランドとしての制度を定着させるためにも、公正な存在である行政の関与が消費者に与える影響は大きい。

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	今後は、事業効果がより高まるよう、製造事業者・販売事業者、観光事業者等や県の各部局との連携を強化し、効果的なPR活動の場を増やすとともに、業界の主体的な取組となるよう運営方法について見直しを行う。